

戦略的芸術文化創造推進事業  
5年成果報告書

団体名称	有限会社ひとみ座
担当者連絡先	(担当部署) 取締役 (氏名) 石川 哲次 (電話) 044-777-2225 (アドレス) puppet@hitomiza.jp

1. 事業内容

課題	課題ii 地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組
事業名	《契約件名》 島からの発信事業 『「郷土芸能によるステージ」と「人形劇ひよっこりひょうたん島」』
事業期間	平成30年 5月 1日 ~ 令和5年 1月 31日 ※契約期間を記載
	<p>【平成30年度】 各島で保存されている音楽や舞踊などの郷土芸能を、実演と解説を織り交ぜながら紹介しました。後半では、島をキーワードにしたNHK放映の名作人形劇「ひよっこりひょうたん島」の舞台版を上演、国内最高レベルの人形劇を観劇する機会を島内で創出しました。</p> <p>①7月21日(土) 気仙沼市立大島小学校体育館 対象島名/大島(宮城県気仙沼市) 実演郷土芸能/要害七福神 ②1月27日(日) ベル・カントホール 対象島名/生口島(広島県尾道市) 実演郷土芸能/名荷神楽 ③2月9日(土) 屋久島離島開発総合センター 対象島名/屋久島(鹿児島県屋久島町) 実演郷土芸能/楠川盆踊り・如竹踊り・屋久島民話・屋久島太鼓 ④2月11日(月・祝) 西之表市民会館 対象島名/種子島(鹿児島県西之表市) 実演郷土芸能/どすこい踊・種子島鉄砲太鼓</p>  <p>【平成31年度(令和元年度)】 平成30年度同様の活動を3箇所予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、1箇所のみ開催となりました。</p> <p>①11月24日(日) 南郷ハートフルセンター 対象島名/大島(宮崎県日南市) 実演郷土芸能/日南太鼓・目井津獅子舞・目井津竹踊り ②(中止)3月6日(金) 久米島町具志川農村環境改善センター 対象島名/久米島(沖縄県久米島町) 実演郷土芸能/打ち豆節・兼城獅子舞 ③(中止)3月8日(日) うるま市きむたかホール 対象島名/沖繩本島(沖縄県うるま市) 実演郷土芸能/平敷屋エイサー</p>  <p>【令和2年度】 平成30年度同様の活動を2箇所予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、1箇所は中止を余儀なくされました。一方で与論島公演では舞台映像・人形解説・郷土芸能紹介を取り入れた新たな専用プログラムを制作することで、コロナ禍での事業実施を成功させました。</p> <p>①(中止)12月18日(金) 徳之島町文化会館 対象島名/徳之島(鹿児島県徳之島町) 実演郷土芸能/上面縄シヨンマイカ・島唄三味線 ②12月20日(日) 与論町立図書館 対象島名/与論島(鹿児島県与論町) 紹介郷土芸能/ゆんぬエイサー・与論小和太鼓・竹下琉舞</p> 

事業内容

【令和3年度】

平成31年度及び令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった2箇所での延期実施を計画しました。徳之島公演は新型コロナウイルスの感染拡大期と重なり中止となったものの、郷土芸能紹介パンフレットの制作及び事後配布による文化事業再興への啓発は実現しました。久米島公演では、郷土芸能紹介パンフレット制作配布に加えて、コロナ禍となって以降本事業では初のライブでの上演を実現させました。

- ①(中止)2月20日(日) 徳之島町文化会館 対象島名／徳之島(鹿児島県徳之島町) 紹介郷土芸能／島嶼三味線
- ②(中止)2月23日(水・祝) 久米島町具志川農村環境改善センター 対象島名／久米島(沖縄県久米島町) 紹介郷土芸能／打ち豆節、兼城獅子舞



【令和4年度】

新型コロナウイルス感染拡大以降、医療体制が脆弱な島嶼部においては特に芸術文化体験機会の消失が顕著でした。また、島の郷土芸能の担い手に高齢者が多いことにより、長く活動停止に追い込まれる郷土芸能団体が多く、それらの改善を目指して本活動の完全な形で復活を図りました。令和3年度で実施したパンフレット制作配布に加えて、佐渡島では郷土芸能展示企画を実施、他2箇所では平成30年度実施以来の郷土芸能団体と専門人形劇団との共演を達成しました。

- ①9月4日(日) 佐渡島開発総合センター 対象島名／佐渡島(新潟県佐渡市) 紹介郷土芸能／文弥人形・説教人形・のろま人形
- ②12月24日(土) 淡路島 対象島名／淡路島(兵庫県南あわじ市) 共演郷土芸能／淡路人形浄瑠璃
- ③12月27日(火) 牟岐町海の総合文化センター 対象島名／出羽島(徳島県牟岐町) 共演郷土芸能／出羽島小唄・出羽島踊り



(左) 福井子供会人形浄瑠璃部による淡路人形浄瑠璃の実演 (中) 人形劇「ひょっこりひょうたん島」 (右) 牟岐民謡クラブによる出羽島小唄と踊り

※事業年ごとの内容を記載。  
※写真等のデータを用い、詳細を記載すること。

URL

該当なし  
※成果報告の内容が分かるページを記載

2. 事業の目標・成果

1 公演数・観客数等定量的な成果について 各年度の実績及び次年度に向けての取組みについて記載。				
初年度における 5年後目標	(単位：人)	H30	H31 (R1)	R2
<p>観客数 ↓ 1公演につき400名 ↓ R2以降は新型コロナウイルス感 染対策のため1公演につき200名 に目標数値修正</p>	単年度目標	1,600人(400人×4回)	1,200人(400人×3回)	400人(200人×2回)
	実績	1,999人	294人	112人
	各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	H31年度に向けて… 各島の教育委員会または観光協会等と連携することで、島内の教育関連団体と郷土芸能団体の双方から協力を得ることが出来ました。目標達成率125%は、その成果と考えています。H31では本年度で得たノウハウを活かして、更なる観客層拡大に努めます。	R2年度に向けて… 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための政府からの全国的イベント中止(延期)要請(2月26日発出)を受けて、3回中2回の公演が中止となりました。そのため本数値での評価は不可能となりました。唯一実施した公演での達成率は74%となりました。島内各機関との連携に課題を残しましたので、R2以降改善を図ります。	R3年度以降に向けて… 新型コロナウイルス感染拡大のため、2公演中1公演は中止、もう1公演も映像中心の内容となり、設定キャパは実質100人(20人×5回)でしたので、コロナ対策上設定されたキャパ以上に、観客同士の距離をとる措置で集客しました。H31に続き、本数値での評価は不可能と考えます。映像による公演という新しく獲得した手段も視野に、中止公演の減少を目指していきます。
	(単位：人)	R3	R4	達成率
	単年度目標	400人(200人×2回)	600人(200人×3回)	78%
	実績	247人	642人	
各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	R4年度に向けて… 新型コロナウイルス感染拡大のため、2公演中1公演は中止となりました。唯一実施した公演での達成率は124%となりましたが、やはり3年連続で本数値での評価は不可能と考えます。改めて映像による公演や、延期日程の事前確保などを視野に入れて、中止公演の減少を目指していきます。	R5年度以降に向けて… 郷土部で文化芸術活動からの再興傾向が見られる中、島嶼部でもそのノウハウを活かしながら郷土芸能や舞台芸術の活動を再開させるため、各島の教育委員会・観光協会・芸能団体の強い協力を得ることで、予定していた全ての活動を本来の形式で実施することが出来ました。その成果は107%という達成率にも表れています。本成果をR5以降の島嶼部での同種活動活性化に繋げていきます。	(達成率の根拠) 達成率は5年間の単年度目標と観客数より算出しています。ただし、R2-R4まで観客数による評価が極めて難しい状況下において、本事業の達成度を本数値で図ることが難しい状況にはなりました。一方で、新型コロナによる公演中止の影響を受けていないH31及びR4に限定した達成率は120%となり、R5以降に継続可能な活動のモデルは示されたと考えています。	
2 <課題解決>における成果について 「課題 ii 地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組」について、各年度において課題解決するための取組目標及び事業実施による成果・変化、次年度に向けての取組を記載。				
初年度における 5年後目標と現状		H30	H31 (R1)	R2
<p>①郷土芸能を利用した島の発信事業の継続 ↓ 翌年度継続30%を目標</p> <p>②中心劇場主催事業としての児童劇開催の継続 ↓ 翌年度継続30%を目標 H31に50%に目標数値修正</p>	単年度目標	①郷土芸能を利用した島の発信事業の翌年度継続実施意向…50%(4島中2島) ②中心劇場主催事業としての児童劇開催の翌年度継続実施意向…50%(4島中2島)	①郷土芸能を利用した島の発信事業の翌年度継続実施意向…33%(3島中1島) ②中心劇場主催事業としての児童劇開催の翌年度継続実施意向…67%(3島中2島)	①郷土芸能を利用した島の発信事業の翌年度継続実施意向…50%(2島中1島) ②中心劇場主催事業としての児童劇開催の翌年度継続実施意向…50%(2島中1島)
	実績	①75%(4島中3島) ②75%(4島中3島)	①単年実績100%(3島中3島)／複数年継続実施調査による実績86%(7島中6島) ②単年実績100%(3島中3島)／複数年継続実施調査による実績86%(7島中6島)	①単年実績100%(2島中2島)／複数年継続実施調査による実績22%(9島中2島) ②単年実績100%(2島中2島)／複数年継続実施調査による実績33%(9島中3島)
	各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	H31年度に向けて… 特に、出演者に子どもが交ざっている4演目については、極めて評価が高い傾向にありました。島の未来を示すという演出意図にしっかりと合致していた結果と判断しています。島内の事業協力者と意旨を共有しながら共演団体の選定を行うことで、継続実施率を高めていきます。	R2年度に向けて… 新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態に、混乱の中3分の2の事業を中止することで事業が終了しました。継続実施意向についても、新型コロナウイルスによる影響については考慮されていない数値のため、実際に事業が意向通りに実施されるのか、注視していくこととなります。	R3年度以降に向けて… 単年実績は意向の調査となるため、継続実施の意欲は確認出来るのですが、実際コロナ禍において実現されるか不明瞭です。一方で複数年継続調査は実績調査となり、郷土芸能においても児童劇においても、その参加機会が島嶼部において著しく失われたことを明瞭に示しました。映像配信など多様な手段を視野に入れて、R3は事業中止の回避を目指すこととなります。
	(単位：人)	R3	R4	達成率
	単年度目標	①郷土芸能を利用した島の発信事業の翌年度継続実施意向…50%(2島中1島) ②中心劇場主催事業としての児童劇開催の翌年度継続実施意向…50%(2島中1島)	①郷土芸能を利用した島の発信事業の翌年度継続実施意向…33%(3島中1島) ②中心劇場主催事業としての児童劇開催の翌年度継続実施意向…67%(3島中2島)	①150% ②167%
	実績	①単年実績100%(2島中2島)／複数年継続実施調査による実績22%(9島中2島) ②単年実績100%(2島中2島)／複数年継続実施調査による実績44%(9島中4島)	①単年実績67%(3島中2島)／複数年継続実施調査による実績50%(12島中6島) ②単年実績100%(3島中3島)／複数年継続実施調査による実績83%(12島中10島)	(達成率の根拠) ①(目標/12島中4島)(最終値/12島中6島) ②(目標/12島中6島)(最終値/12島中10島)
各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	R4年度に向けて… 数値としてはR2と同様の傾向が見られるものの、新型コロナ感染対策徹底の定着や、開催方法の多様化により、文化事業活発化の兆候が見られ始めました。R4においては実質的な成果達成を目指して、過去5年間における協力団体と改めて島内での事業活性化について課題を共有することで、複数年継続実施における数値改善を目指します。	R5年度以降に向けて… 郷土芸能団体の活動復興と、島嶼部の次代を担う児童の豊かな観劇機会の再確保に向けて、極めて重要な年度となりました。郷土芸能団体、特に児童が多く在籍する団体と共演を達成したことは、本年度事業の成功に大きく寄与しました。本事業の成果を活かして、島嶼部の芸能を更に内外にアピールすることに貢献していきます。		

3 戦略的芸術文化創造推進事業における課題解決の他に、事業を実施する中で見えた成果について			
(1) 成果内容		(2) 今後、成果を生かせる事業や取組	
<p>○郷土芸能の後継者確保の課題 島嶼部の発展にとって、観光客の誘致、本島等からの移住促進は欠かすことの出来ない要素です。インバウンドを含めて、島嶼部に人を誘致する際に魅力となるものの一つが、豊かな郷土芸能です。ところが、本事業に携わった全ての郷土芸能団体が、今後の課題として後継者不足を挙げています。本事業により、郷土芸能団体への児童青少年の誘致が促進することにより、後継者不足の解決に向けた動きが活性化する兆候が見られました。</p> <p>○地域でのコミュニケーションと助け合いの活性化 本事業の広報段階で、島内に居住する移住世帯、障害者、外国人など、地域事業への参加に障壁のある方々と、広く出会えたことは大きな成果となりました。各地域の行政や各芸能保存会との協力を実現して、地域密着での事業アピール活動を行ったことにより、地域内での世代や立場を越えたコミュニケーション誘発に繋がったと考えています。</p>		<p>○児童が出演する郷土芸能の活性化事業 本事業でも、とりわけ児童が出演する郷土芸能の実演には、高い人気と集客力がありました。今後児童が出演することを前提とした郷土芸能発信事業を継続することにより、島の文化が継承されていることを内外にアピールすることで、島嶼部の活性化に貢献していくモデルケースが本事業で確認されました。</p> <p>○事業継続による地域コミュニティの継続した拡大 本事業を一過性のものと捉えずに、同種事業を継続していくことが不可欠です。本事業により成立した事業広報コミュニティが、今後島内の様々な活動を担う軸となることで、地域活動の活性化と、地域内での助け合いによる共生社会の実現に近づいていきます。今後も本事業協力者との連携を維持しながら、島嶼部の発展を共に目指していきます。</p>	
4 新型コロナウイルス感染症による影響と取組について			
(1) 影響	(2) 中止・延期をせず、事業実施するための努力	(3) コロナ拡大の影響を通して得たもの、知見	(4) 今後、同様の感染症拡大が起こったことを見据えた取組
<p>重症化しやすいとされる高齢者の割合が多く、医療体制が脆弱な島嶼部において、新型コロナウイルスの影響は、本島を遥かに上回るものでした。島内に一人でも陽性者が発生すると、人が集まる事業や文化施設の使用は事実上不可能となり、芸術文化の鑑賞機会確保に著しいマイナスの影響を及ぼしました。</p> <p>また、ほとんどの郷土芸能団体は、経験をもつ高齢者が指導者となっているため、多くの郷土芸能団体は日常的活動から止めざるを得ない状況に追い込まれました。</p>	<p>同時に多数の観客が集まることを避けるため、人形劇公演は事前に映像作品として成立するものを用意することで、少人数ずつ複数回にわたり鑑賞することを可能としました。</p> <p>また、活動が停止している郷土芸能団体の再興に向けて、紹介パンフレットを制作して配布しました。</p>	<p>映像活用法、オンラインによる多様な発信など、感染拡大前にはなかった知見をこの期間に得ることが出来ました。</p> <p>また、芸術文化が一時途絶えたからこそ、島内の協力者と改めて芸術文化参加の有用性を再確認することが出来ました。</p>	<p>芸術文化への鑑賞を含めた参加機会を継続的に確保するために、映像と解説を基軸にした少人数の構成、オンライン配信やハイブリッドなどを駆使して、中止により活動を途絶えさせないための工夫を継続して意識・実践していきます。</p>
5 1～4 以外に、貴団体において周知したいこと 等			
<p>当劇団は人形劇の創造・普及、またそのための人材育成をミッションとする団体です。本事業では当劇団の通常活動を越えて、島嶼部内の芸術文化活動活性化について地元協力者とともに意見交換を行い、実演団体の選定から協力して事業を実施しました。今後当劇団が、自劇団の創造性向上のみならず、全国レベルでの芸術文化参加機会拡大と人材育成に貢献出来る団体となり、各地域に広く貢献していくために、本事業により得たネットワークとノウハウを最大限活用していきます。</p>			
感想・評判	<p>5年間で本事業を実施した12島(中止箇所含む)全ての協力者より、本事業に対して高い評価を頂いています。事業終了後の継続調査についても、全ての団体より継続した協力を得られています。 また、観客への満足度調査でも、5段階調査で平均4.3ポイントを獲得するなど、各事業が島内で高い評価と成果を残していることが示されています。</p>		